



COP24が開かれるポーランドの女性を京都市「DO YOU KYOTO?」大使に任命



京都大学 准教授 浅利 美鈴



カタジーナ・ミツニエフスカさん



京都市 門川 大作 市長

今年の12月に開かれるCOP24の議長国・ポーランドのカタジーナ・ミツニエフスカさんが、京都市「DO YOU KYOTO?」大使に任命され、5月28日、京都市役所で門川大作京都市長より委嘱状が手渡されました。

『びっくり!エコ新聞』は、京都大学地球環境学堂浅利美鈴准教授とともに、門川市長との対談を取材しました。

カタジーナさんは

超親日家

門川 京都市「DO YOU KYOTO?」大使にご就任いただき、ありがとうございます。京都議定書が誕生して20年。私たちは市民の皆さんとともに、環境問題に取り組んできました。そして、昨年12月の「地球環境京都会議2017 (KYOTO+20)」で、「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」を、京都議定書が誕生した同じ会場で発信しました。ポーランドで開催されるCOP24の成功をお祈りするとともに、カタジーナさんには京都市「DO YOU KYOTO?」大使として、京都の取組を世界にアピールしてほしいと思います。

カタジーナ 私は環境経済の専門家で、自然環境を守ることを目標にしており、京都市「DO YOU KYOTO?」大使になることを、大変光栄に思っています。現在ポーランドは



COP24は

とても大事な会議

門川 こうして環境問題で世界がつながるといのは大事なことですね。

浅利 ポーランドはいくつもの国に支配されてきた歴史をもっているため、物静かな中にしてきた国民性で、今後東ヨーロッパをリードしていく国になると思います。

門川 今度のCOP24は、パリ協定の運用ルールが決まる、一番大事なときです。

カタジーナ いくつかの国が賛同しないのは残念ですが、私たちができることはしっかりとやっていきたいです。

門川 地球環境問題は、世界中の国が国家として取り組む大きな問題です。

心でつながる

日本とポーランド

カタジーナ 今ポーランドでは、「ごみ」と「食品ロス」が問題になっています。去年の3月に聞いた京都市の取組を参考に、ごみ問題を解決し、食品ロスを減らせるよう取り組んでいきたいと思っています。

浅利 私も6月にポーランドに行き、彼女が主催する会議で、ごみや食品ロスに関する京都市の取組を紹介しました。

門川 京都市では戦後、経済成長に伴ってごみの量が増えつつありますが、現在は一番多い時期の半分に減らしました。

カタジーナ すばらしい成果ですね。ポーランドは戦争や体制の問題で発展の機会を逃してきていまだ、まだごみの量は多くはありません。今のうちに京都を見習って、少ないまま発展していきたいと思っています。

門川 今年の10月30日には京都市で「第2回食品ロス削減全国大会」を開催します。昔は「もったいない」と言われて、食べ残しは叱られたものです。世界では飢餓に苦しんでいる人たちがいるなかで、一部の人間が食

な問題ですが、人々の生活に直接関わる自治体の役割もとても重要です。そのため京都市は、世界中の約1500の自治体でつくる協議会・イクレイ（持続可能性を目指す自治体協議会）の活動など、都市間連携に取り組んでいます。

カタジーナ ポーランドは、ヨーロッパの中ではどちらかというと後発国といえますが、SDGs（国連持続可能な開発目標）が盛んに取り上げられるようになっていきます。また、ヨーロッパはサーキュラー・エコノミー（循環経済）といって、自分たちの地域でモノを回していくように、経済自体を変えていくと舵を切ったので、変革の音がより大きくなっていると思います。

な問題ですが、人々の生活に直接関わる自治体の役割もとても重要です。そのため京都市は、世界中の約1500の自治体でつくる協議会・イクレイ（持続可能性を目指す自治体協議会）の活動など、都市間連携に取り組んでいます。



物を粗末にするというのは、あってはならないことです。

カタジーナ ポーランドに「もったいない」にあたる言葉はありませんが、自然は私たちが先祖から「預かった」ものであると、よく言われます。預かったものであると、そのままの姿で次の世代に譲り渡さないとはいけません。

門川 日本も、かつてはそれほど豊かな国ではなかったため、自然のものを大切にしながら、おもてなしをしてきました。ポーランドのそういう精神も大事にしながら、教育活動も含めて、一つひとつ取り組んでいきたいと思っています。

カタジーナ 現在、ポーランドを含め、アジアからのお金が



ポーランドで走行中の「DO YOU KYOTO?」ラッピングカー

京都市「DO YOU KYOTO?」大使って?

「DO YOU KYOTO?」とは、1997 (平成9)年に京都でCOP3が開催されたことから、「環境にいいことしていませんか?」という意味で使われる合言葉です。「DO YOU KYOTO? 大使」は、京都の取組を日本国内や世界に向けて発信し、環境にやさしい活動の輪を広げるために2009 (平成21)年に京都市が設置したもので、カタジーナさんは初の外国人大使です。



COP24が開かれるカトヴィツェ市

2018 (平成30)年12月にCOP24 (第24回気候変動枠組条約締約国会議)が開かれるカトヴィツェ市は、ポーランド南部にある石炭産業中心の工業都市 (人口約31万人)で、現在は文化都市として脱工業化を図っています。COP24では、パリ協定で決められた地球温暖化を防ぐための具体的な「ルールブック」づくりが大きな課題です。



カタジーナさんに聞きました

ポーランドってどんな国?

面積約32.2万km² 人口約3,842万人 首都ワルシャワ

ポーランドの歴史・文化

10世紀ごろ建国されたとされ、ヨーロッパの中央部という地理的な関係から周囲の国から侵略を受けることも多く、18世紀末から120年間以上世界地図から姿を消すなど、辛い歴史があります。第2次世界大戦のナチス・アウシュヴィッツ強制収容所もポーランドにありました。戦後の社会主義国体制から現在の姿になったのは1989年で、2004年にはEU加盟も果たし、ヨーロッパの一員として経済発展を進めています。

ポーランド出身の著名人には、作曲家・ショパン、ノーベル賞を二度受賞した化学者・物理学者のキューリー夫人、コルベ神父、ヨハネ・パウロ二世などがいます。



ショパン

ポーランドの環境問題

ポーランドではエネルギー源として石炭のしめる割合が多く、電力の約8割が石炭火力発電に頼っています。このため大気汚染がひどく、また石炭は地球温暖化の原因となるCO₂を多く排出するため、大きな問題になっています。1960年代から環境問題に取り組んで、技術の力で解決してきた日本から多くのことを学びたいと思います。

ポーランドの学校

義務教育は小学校 (6年間)・中学校 (3年間)・高等学校 (3年間)の12年間で、9月1日から始まる2学期制です。環境教育としては、ゲームにエコの要素を取り入れることが多く、エコゲームやすごろく、クロスワードパズル、ツイスターなどが盛んです。また、エコ・マジックも人気があります。



日本とポーランドの関係

「森へ行きましよう娘さん (アハハ) / 鳥が鳴く (アハハ) ああ森へ / 僕は木を切る君たちは (アハハ) / 草刈りの (アハハ) 仕事しに」という歌を知っていますか? この歌はポーランド人なら誰でも知っている民謡で、日本の教科書にも載っていたと聞きました。実はこの歌は、ポーランド独立 (1918年)の英雄、ユゼフ・ピウスツキの兄、プロニスワフが作ったと言われています。プロニスワフはアイヌの研究者であり、アイヌ人女性と結婚しました。日本とポーランドは、歌でもつながっていたんですね。

ポーランドの家庭

子どもたちは日本のアニメやマンガが大好きで、日本に対する関心が高く、日本の武術、特に KARATE (空手) は人気スポーツベストテンに入っているほど。料理では、SUSHI (お寿司) が一番人気です。ポーランドでは、最近ごみの分別が国によって統一されたのでまだ慣れておらず、学校で習ってくる子どもたちが親に教えている家庭も多いようです。



DO YOU KYOTO? 英語×アート企画に参加しませんか?

着物のハギレなどに英語でメッセージを書き、集めてエコちゃんクリスマスオブジェにします。当日はポーランドから来日した DO YOU KYOTO? 大使の方々や企画に関わる大学生との交流や、ピアニストによるミニコンサートも。



DO YOU KYOTO? 大使 Katarzyna さん



有名TV司会者 Maciej Orlos さん



ピアニスト Rafal Mokrzycki さん



京都造形芸術大学学長 尾池和夫 先生

自分用のミニツリーを作ろう!

英語の勉強にも!

本場のショパンを!

エコグッズやポーランド菓子のプレゼントも!

11月25日(日) 英語でアートな週末

10:00 ~、14:00 ~ (所要約1.5時間) ※長く滞在頂いても結構です
ミニコンサートや作品作り、英語での交流が楽しめます。
※1品以上 (ソフトクリーム450円~) の注文が必要です。

11月27日(火) 英語でアートなタベ

17:30 ~ 19:00 1人750円 (コーヒー&焼き菓子つき)
コンサートや作品作り、英語での交流、ポーランド&環境クイズ大会 (プレゼントつき!) が楽しめます。

対象

小学校3年生~大学生

※保護者の方も同行可能です。同行される場合は保護者氏名もお書き添えてください。

人数

11月25日分 各回15名

11月27日分 40名程度

(すべて先着順)

開催場所

京都造形芸術大学内カフェVerdi (京都市左京区北白川瓜生山2-116 瓜生館1階)

応募締切

11月15日(木) 参加確定者には後日詳細をお送りします。

応募方法

裏面の宛先をご確認ください。